

## 令和4年度愛媛県市町教育委員会連合会定期総会 教育長祝辞

令和4年7月21日（木）  
国立大洲青少年交流の家

本日は、令和4年度愛媛県市町教育委員会連合会定期総会が3年ぶりに開催されますことを心からお喜び申し上げます。

また、皆様方には、日頃から本県教育行政の推進に格別の御尽力をいただいております。特に、この2年以上にわたり収束の見えないコロナ禍にあって、「学びの保障」と「安全・安心な学校運営」の両立に努めていただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

ご案内のとおり、県内では、6月下旬頃から、新型コロナの急激な感染の広がりが見られており、かつてない水準でコロナの第7波が押し寄せてきています。県では今月12日より、独自の警戒レベルを「感染警戒期『特別警戒期間』」に引き上げ、感染回避に強く軸足を置いた対策の強化を呼び掛けていますが、皆様方におかれましては、学校現場での感染防止対策の再点検と徹底、業務の円滑な継続のための体制の整備・確認などはもとより、夏休み中の御家庭での感染予防についても呼びかけをしていただきますようお願いいたします。

さて、県教育委員会では、先般、少子化の進行に伴う生徒数の減少や、急速に進展する情報化・グローバル化などに対応するため、県立高校等の再編整備や魅力化の在り方を地域ごとに示す県立学校振興計画（案）を公表させていただきました。ご案内のとおり、この計画案は、県内8つの地域ごとに市長さん・町長さんや教育長さん、PTA役員の方々や進路指導に携わられる小中学校の代表の方々等と協議を重ね、「生徒ファースト」の視点を共有しながらとりまとめたものであります。

急激な少子化により、この30年間で県立高校の在籍生徒数が半減し、15年後には更に3割程度の子どもの減少が見込まれる中で、学校の小規模化や定員割れに歯止めをかけながら、どの地域の子どもたちにも、良質な教育環境と魅力的な選択肢を提供するためには、県立高校の魅力化や再編は避けて通れない課題と考えております。計画案では、学校の再編と併せ、職業横断的な学びの推進や、国際、情報、スポーツ等の普通系コースの多様化、キャンパス制の導入など、学校の魅力化につながる振興策を盛り込みますとともに、島しょ部や人口減少地域については、一定の基準の下、学校の存続に努めることとしております。

今後は、地域説明会の開催やパブリックコメント等を通して、より広く県民の皆様の意見をお伺いしながら、計画的・段階的に実施に移してまいりますので、皆様方には、よりよい学校づくりに向けて、今後とも力強い御支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、Society5.0の時代を見据え、大きな期待を寄せているICT教育の推進につ

きましては、各市町において、通信環境の拡充や教職員の研修等の環境整備が進められているところでございます。さらに、本格的なICT教育2年目となります今年度は、全市町のご賛同を得て、CBTの運用を開始いたしました。昨年度末に実施した学力診断調査等で、試行的にCBTを活用いたしました折には、採点作業の省力化や高い分析機能等が教員の皆さんに高く評価されました。今年度は日常的なドリル等でも幅広く活用し、個別最適な学びに資するよう普及に努めて参りますので、引き続き御協力をお願いいたします。

最後になりますが、愛媛県市町教育委員会連合会の益々の御発展と、御出席の皆様方の御健勝、御活躍を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。